
赤平市橋梁長寿命化修繕計画

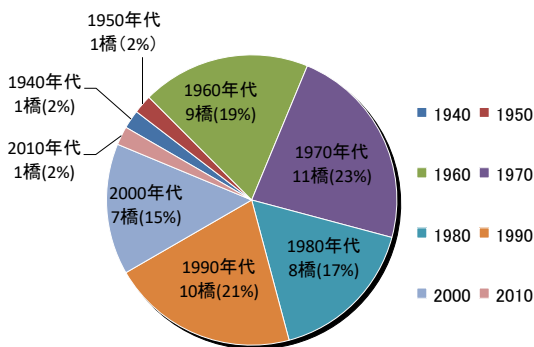


令和4年8月

1. 背景

- 赤平市が管理する道路橋は現在48橋あり、その大半は高度経済成長期（1955年～1973年）以降に建設されてきたものとなっています。
- 管理橋のうち、建設後50年を経過する高齢化した橋梁数の割合は、現在のところ17橋で全体の約35%程度であります。20年後の2042年には31橋となり、この割合が65%を占め、急橋の高齢化が進行します。
- このままでは、多くの橋梁が経年劣化に伴う損傷や不具合が発生する可能性が増加し、それらは交通の安全を脅かすことにつながります。
- そのため、これから急激な増加が予想される橋梁の修繕や架替えに必要となる経費に対して、計画的に維持管理を行い、出来る限りのコスト縮減への取り組みが求められています。

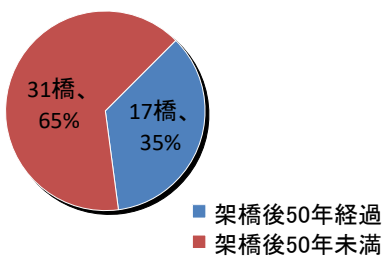
架設年代別橋梁数（全48橋）



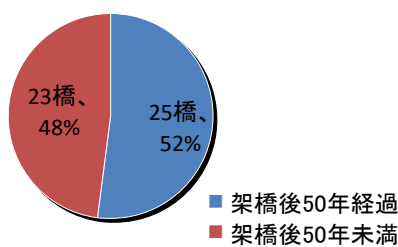
1945年建設 住吉橋（77年経過）

建設後50年以上の橋梁数の推移（48橋）

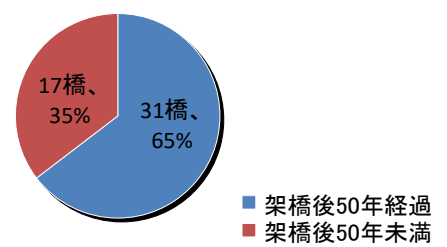
2022年度



2032年度



2042年度



2. 目的

- 高齢化する管理橋梁の増大に対応するため、定期点検により橋梁の状態を把握し、予防かつ計画的な修繕及び架替えを着実に進め、地域の道路網の安全性、信頼性を確保しつつ、橋梁長寿命化計画により、修繕及び架替えに係る費用のコスト縮減を図ることを目的としております。
- 橋梁点検及び橋梁長寿命化計画の方針、修繕優先順位の考え方を体系的に整理し、計画的管理により、必要予算の平準化を図り、将来の大きな財政負担を緩和します。

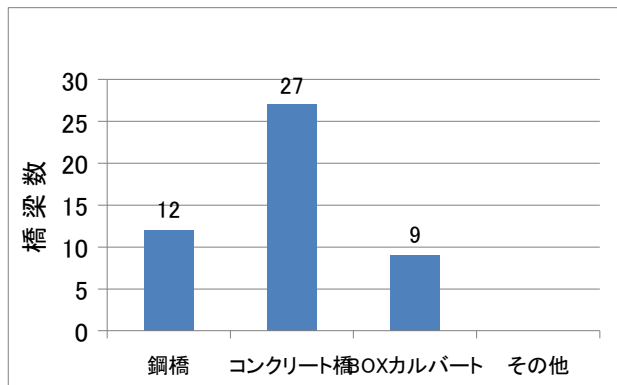
3. 対象橋梁

- 赤平市が管理する全48橋について、各橋梁ごと橋梁長寿命化修繕計画を策定します。

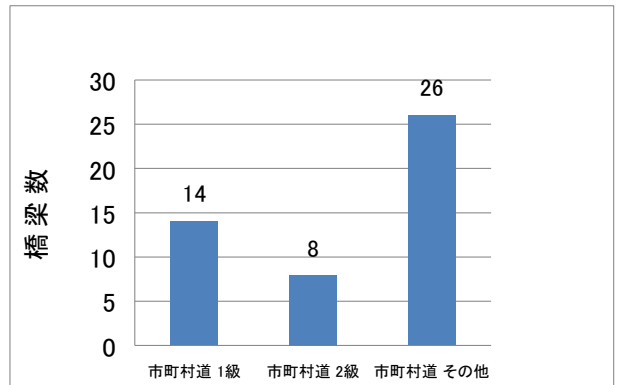
対象橋梁

		1級市道	2級市道	その他市道	合計
全管理橋梁数		14	8	26	48
うち計画策定対象橋梁数		14	8	26	48
うちR3年度計画策定橋梁数		14	8	26	48

橋種別橋梁数（全48橋）

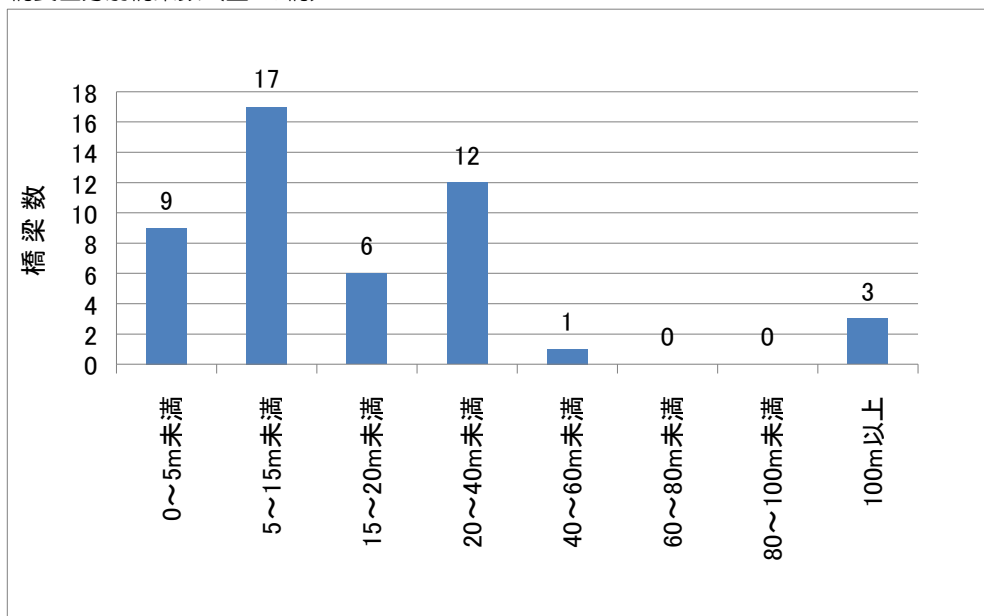


道路種別橋梁数（全48橋）



- 橋長区分では、0～40m未満の橋梁が44橋と対象橋梁全体の9割を占め、40m～100m未満の橋梁が1橋、100m以上の長大橋は3橋です。

橋長区分別橋梁数（全48橋）



4. 対象橋梁の状態

- 令和3年度に実施された橋梁点検結果において、通行止め、交通規制等の緊急を要する橋梁はありませんでした。

健全性診断別橋梁数（全48橋）



判定区分

区分	状態
良 I 健全	道路橋の機能に支障が生じていない状態。
II 予防保全段階	道路橋の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III 早期措置段階	道路橋の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずるべき状態。
悪 IV 緊急措置段階	道路橋の機能に支障が生じている。又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

5. 対策優先順位の考え方

- 各施設の修繕や更新は、橋梁点検において健全性の低いもの、重要度や利用状況による維持管理区分の高い施設を優先に実施します。

維持管理区分決定根拠

維持管理区分	橋梁条件	対象橋梁（全48橋）
A	<ul style="list-style-type: none"> 第三者被害を及ぼす可能性がある橋梁 緊急輸送道路（歩道橋を除く） 橋長100m以上（歩道橋を除く） 道路種別1級における橋梁 	全16橋
B	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理区分A以外で橋長15m以上 道路種別2級における橋梁 	全12橋
C	<ul style="list-style-type: none"> 維持管理区分A以外で橋長15m未満 第三者被害を及ぼす可能性がない歩道橋 	全20橋

優先順位

点検健全度	維持管理区分		
	A	B	C
5 良	—	—	—
4	—	—	—
3	⑥ 予防保全	⑧ 予防保全	⑨ 予防保全
2	④ 事後保全	⑤ 事後保全	⑦ 事後保全
1 悪	① 大規模補修・更新	② 大規模補修・更新	③ 大規模補修・更新

6. 橋梁別判定区分（健全性）

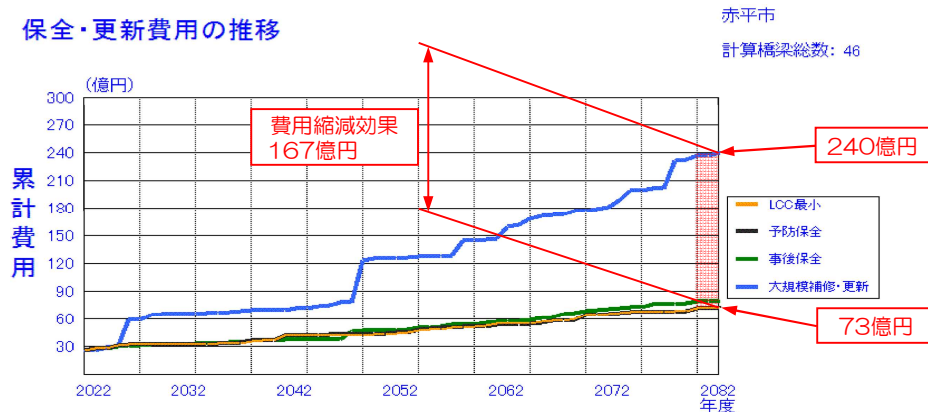
番号	橋梁番号	橋梁名	路線名	所在地（緯度/経度）	橋梁の種類	橋長	幅員	判定区分	備考
1	0003	富士の川橋	右岸通	43.58526, 142.01430	RC橋	4.10	7.10	I	H26 補修済
2	0004	滝の川橋	右岸通	43.58440, 142.00536	PC橋	10.30	7.00	I	H29 補修済
3	0005	幌倉橋	共和本通	43.57528, 142.01547	PC橋	32.70	7.50	I	
4	0006	表橋	境通	43.57427, 142.00563	PC橋	9.65	4.40	II	R5 補修予定
5	0008	吉見橋	住吉本通	43.56251, 141.98800	鋼溶接橋	15.20	7.50	II	R5 設計予定
6	0009	住吉橋	住吉東通	43.56855, 142.00408	RC橋	29.30	5.50	I	H26 補修済
7	0012	19線橋	花園1号通	43.55136, 142.05497	RC橋	8.50	3.75	I	H30 補修済
8	0012	19線橋	花園1号通	43.55136, 142.05497	PC橋	8.50	3.75	I	H30 補修済
9	0012	19線橋	花園1号通	43.55136, 142.05497	PC橋	11.40	2.30	I	H30 補修済
10	0014	宮崎橋	宮崎通	43.53795, 142.11180	PC橋	17.66	6.00	I	
11	0015	平班橋	福住平岸線	43.54375, 142.12512	鋼溶接橋	134.00	9.50	II	R5 設計予定
12	0016	野口橋	野口通	43.58073, 142.01133	RC橋	3.47	7.50	I	H26 補修済
13	0017	幌倉渡船場橋	幌倉渡船場通	43.57832, 142.02138	PC橋	32.30	7.50	I	
14	0018	幌岡通学橋	幌岡通学線	43.58115, 142.02816	PC橋	31.30	6.00	I	
15	0019	内左の沢1号橋	右奈江沢線	43.55631, 141.99897	RC橋	6.10	3.60	I	H26 補修済
16	0020	奈江沢2号橋	右奈江沢線	43.55611, 142.00055	PC橋	6.34	3.40	I	H30~R1 補修済
17	0021	宮居橋	住吉西通	43.56559, 141.99063	RC橋	17.30	6.00	I	
18	0022	福栄橋	住吉仲通	43.56799, 141.99725	PC橋	15.48	7.50	I	H30 補修済
19	0023	大谷沢1号橋	大谷沢線	43.55518, 142.10058	PC橋	18.86	6.50	I	
20	0024	大谷沢2号橋	大谷沢線	43.55720, 142.10169	PC橋	8.40	5.00	I	R1 補修済
21	0025	神社橋	共和神社通	43.57644, 142.01713	PC橋	34.80	6.00	I	
22	0026	右奈江沢1号橋	中奈江沢線	43.54326, 141.98025	PC橋	16.67	4.00	I	
23	0027	右奈江沢2号橋	中奈江沢線	43.54106, 141.98727	RC橋	5.50	3.60	I	
24	0028	緑橋	文京学園通	43.56444, 142.04675	RC橋	3.80	10.40	I	
25	0029	吉の川4号橋	北文本通	43.56715, 142.05377	RC橋	2.60	7.60	I	
26	0030	緑ヶ丘橋	豊丘本通	43.56571, 142.05019	RC橋	2.50	6.50	I	
27	0031	吉の川橋	東文2丁目通	43.56186, 142.04505	RC橋	3.60	16.60	I	
28	0032	文京1号橋	東文3丁目通	43.56291, 142.04586	RC橋	3.65	10.85	I	
29	0033	保育橋	文京会館通	43.56349, 142.04616	鋼溶接橋	7.20	2.50	II	R5 補修予定
30	0034	弥栄橋	弥栄仲通	43.54441, 142.05947	PC橋	2.90	5.00	I	
31	0035	五条橋	茂尻仲通	43.53811, 142.08663	RC橋	2.40	8.00	I	
32	0036	左大谷沢1号橋	左大谷沢線	43.55831, 142.10375	PC橋	8.40	5.00	III	R4 補修予定
33	0037	左大谷沢2号橋	左大谷沢線	43.55940, 142.10680	PC橋	8.40	4.00	II	R5 設計予定
34	0038	左大谷沢3号橋	左大谷沢線	43.56008, 142.10744	鋼溶接橋	7.25	4.00	III	R3~4 補修済・予定
35	0039	左大谷沢4号橋	左大谷沢線	43.56045, 142.10802	PC橋	8.45	4.00	II	R4 補修予定
36	0040	左大谷沢5号橋	左大谷沢線	43.56180, 142.10927	鋼溶接橋	5.92	4.00	I	R2 補修済
37	0041	西坂橋	平岸南西新線	43.53256, 142.11650	鋼溶接橋	13.42	4.02	III	R3 補修済
38	0042	新成大橋	新成大橋通	43.57327, 141.99769	PC橋	430.20	8.50	II	H27~29 補修済
39	0043	滝の川2号橋	共和本通	43.57514, 142.00616	PC橋	22.78	7.50	I	
40	0044	赤間の沢橋	百戸本通	43.54713, 142.08113	PC橋	14.70	10.00	I	
41	0045	エルム高原1号橋桂橋	基線	43.58778, 142.03955	PC橋	26.70	12.50	I	
42	0046	エルム高原2号橋辛夷橋	基線	43.58802, 142.03877	鋼溶接橋	25.60	12.50	I	
43	0047	エルム高原3号橋白樺橋	基線	43.58786, 142.03741	鋼溶接橋	40.00	12.17	I	
44	0048	エルム高原4号橋桜橋	基線	43.59162, 142.03683	鋼溶接橋	30.00	12.00	I	
45	0049	エルム高原5号橋楓橋	基線	43.59291, 142.03941	鋼溶接橋	32.70	12.00	I	
46	0050	虹かけ橋	中央通	43.55952, 142.05334	PC橋	257.00	16.00	I	
47	0050	虹かけ橋（右歩道）	中央通	43.55819, 142.05172	H型钢	24.71	1.50	I	
48	0050	虹かけ橋（左歩道）	中央通	43.55808, 142.05188	H型钢	23.31	1.50	I	

7. 対策内容と実施時期

- 様式1-2による。

8. 橋梁長寿命化修繕計画の効果

- 今後60年の修繕・架換事業費（予防保全型、大規模補修・更新型）を試算した結果、事後的な大規模補修及び更新の場合は事業費約240億円となりますが、橋梁長寿命化修繕計画を策定することで、予防かつ計画的な修繕計画が可能となり、事業費が約73億円となります。これによって、約167億円（約70%）のコスト削減効果が期待できます。
- 修繕を計画的に実施することで、市の財政負担の平準化が計られます。



9. 新技術の活用

- 管理する48橋のうち、約1割の橋梁で新技術の活用を目指す。
- 1巡目の定期点検において橋梁点検車等を使用した橋梁については、新技術の活用を重点的に検討し、令和8年度までの5年間で約1百万円のコスト削減を目指す。
- 修繕工事においても、全ての橋梁で設計段階から新技術の活用を含めた比較検討を行い、コスト削減を目指す。

10. 集約化・撤去

- 集約化・撤去が可能な1橋について、令和6年度までに集約化・撤去を検討し、約1百万円のコスト削減を目指す。

11. 計画策定担当部署

- 担当及び問合せ先

赤平市 建設課土木係 TEL: 0125-32-1821